

介護保険サービスにおける認知症高齢者への サービス提供に関する実態調査研究事業の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

(株)三菱総合研究所は介護保険サービスにおける認知症高齢者へのサービス提供に関する実態調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護保険サービスにおける認知症高齢者へのサービス提供に関する実態調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、栗田主一（東京都健康長寿医療センター 研究部長）を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、(株)三菱総合研究所が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

介護保険サービスにおける認知症高齢者へのサービス提供に関する実態調査研究事業の調査検討組織 委員等

委員長	栗田主一（東京都健康長寿医療センター 研究部長）
委員	石山麗子（東京海上日動ベターライフサービス株式会社 地域連携・認知症対応推進チーム シニアケアマネジャー）
委員	佐々木薫（仙台楽生園ユニットケア施設群 統括施設長）
委員	柴田範子（NPO 法人楽 理事長）
委員	藤田佳也（京都府宇治市健康長寿部副部長 兼 健康生きがい課長）
委員	本間昭（社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター センター長）
委員	松浦美知代（元介護老人保健施設なのはな苑 看護・介護部長）
委員	宮島 渡（社会福祉法人長野県高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ総合施設長）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室 室長補佐 山田 義人
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室 認知症対策・虐待防止対策係長 石川 直人
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室 認知症対策・虐待防止対策係 伊藤 桃子

(6) 介護保険サービスにおける認知症高齢者へのサービス提供に関する実態調査研究事業 (案)

1. 調査研究の目的

認知症高齢者の状態に応じた、介護サービス等の提供実態を明らかにするため、認知症高齢者に対する各介護サービス施設・事業所におけるサービス提供状況や事業所の体制、認知症高齢者の状態に応じた介護サービスの組み合わせ等の状況について横断的な調査を行う。

2. 検討対象

A. 認知症高齢者のサービスの利用状況に関する概況調査

調査対象は、全ての居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービスとする。

B. 認知症高齢者に対するサービス提供の実態及び介護保険サービスの利用状況に関する調査

① 認知症高齢者に対するサービス提供の実態に関する調査

調査対象は、居宅サービス（予防含む）、施設サービス、地域密着型サービス（予防含む）のうち、以下のサービスとする。（計10,000事業所）

サービス類型	調査対象
居宅サービス	訪問介護、訪問リハビリテーション、訪問看護、通所介護、通所リハビリテーション、特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅）、居宅介護支援※
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
地域密着型サービス	定期巡回・随時訪問対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護

※（5）居宅介護支援事業所及び介護支援専門員業務等の実態に関する調査研究事業と連携し、可能な範囲で把握。

② 認知症高齢者の介護保険サービスの利用状況に関する調査

①の対象サービスを利用する高齢者の1/3を無作為抽出する。

3. 主な調査項目

A. 認知症高齢者のサービスの利用状況に関する概況調査

認知症高齢者と認知症以外の高齢者が利用するサービス種類・量の違いについて基礎的な分析を行う。

B. 認知症高齢者に対するサービス提供の実態及び介護保険サービスの利用状況に関する調査

① 認知症高齢者に対するサービス提供の実態に関する調査【事業所調査】

基本情報、加算の取得状況、認知症高齢者に対する支援体制、研修・マニュアル等の整備状況等

② 認知症高齢者の介護保険サービスの利用状況に関する調査【利用者調査】

基本情報、認知症の診断状況、認知症のケアの内容、認知症ケアを行う上での課題等

認知症高齢者へのサービスの提供に関する実態調査
【事業所票】

■記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は、貴事業所において当該調査の項目に一番適切に回答ができる方がご記入下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、2015年10月1日時点の状況についてご回答下さい。
- ・ 特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・ () の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・ 記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、2015年11月★日(★)までにご返送下さい。

■調査に関するお問い合わせ先

「認知症高齢者へのサービスの提供に関する実態調査」事務局
 電話 : 0120-●●●-●●● (平日9時30分~17時30分)
 ●お問合せの際に、調査名をお伝え下さい●
 FAX : 03-●●●-●●● (24時間受付)
 E-mail : dementia27-ml@mri.co.jp
 〒100-8141 東京都区永田町2-10-3
 三菱総合研究所 人間・生活研究本部 社会保障政策グループ内

【2015年10月1日時点】

問1. 基本情報	
(1)所在地	()都・道・府・県 ()市・区・町・村
(2)開設主体	1. 公立(都道府県・市区町村) 2. 社会福祉法人(社会福祉協議会を除く) 3. 社会福祉協議会 4. 医療法人 5. 社団・財団法人 6. 営利法人(株式会社、有限会社) 7. 特定非営利活動法人 8. その他()
(3)開設年月	西暦 ()年()月
(4)定員数	()人
(5)ユニット数	()ユニット
(6)事業所を運営する法人等が同一または隣接市町村で実施する医療・介護サービス(介護予防も含みます。自事業所分は除いて回答してください。) ※複数可	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 5. 介護老人保健施設 6. 介護療養型医療施設 7. 訪問介護 8. 訪問入浴介護 9. 訪問看護 10. 訪問リハビリテーション 11. 居宅療養管理指導 12. 通所介護 13. 通所リハビリテーション 14. 短期入所生活介護 15. 短期入所療養介護 16. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など) 17. 福祉用具貸与 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 夜間対応型訪問介護 20. 認知症対応型通所介護 21. 小規模多機能型居宅介護 22. 認知症対応型共同生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 25. 複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期利用居宅介護) 26. 居宅介護支援 27. その他()

問2. 加算等の算定状況 2015 年 9 月実績		問 2 はサービスごとに加算の内容を変更。	
(1) 夜間支援体制加算(Ⅰ)		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
(2) 夜間支援体制加算(Ⅱ)		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
(3) 認知症行動・心理症状緊急対応加算		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
	「2. 算定なし」の場合、その理由 ※複数可	1. 利用者がいない 2. 専門職が確保できない 3. 採算があわない 4. その他()	
(4) 若年性認知症受入加算		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
	「2. 算定なし」の場合、その理由 ※複数可	1. 利用者がいない 2. 専門職が確保できない 3. 採算があわない 4. その他()	
(5) 看取り介護加算		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
(6) 医療連携体制加算		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
(7) 退去時相談援助加算		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
(8) 認知症専門ケア加算(Ⅰ)		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
	「2. 算定なし」の場合、その理由 ※複数可	1. 利用者がいない 2. 専門職が確保できない 3. 会議開催が難しい 4. 採算があわない 5. その他()	
(9) 認知症専門ケア加算(Ⅱ)		1. 算定あり→()件	2. 算定なし
	「2. 算定なし」の場合、その理由 ※複数可	1. 利用者がいない 2. 専門職が確保できない 3. 会議開催が難しい 4. 研修開催が難しい 5. 採算があわない 6. その他()	
(10) サービス提供体制強化加算		1. (Ⅰイ)→()件	2. (Ⅰロ)→()件
		3. (Ⅱ)→()件	4. (Ⅲ)→()件
		5. 算定なし	
(11) 介護職員処遇改善加算		1. (Ⅰ)→()件	2. (Ⅱ)→()件
		3. (Ⅲ)→()件	4. (Ⅳ)→()件
		5. 算定なし	

問 3 はサービスごとに職種を変更。

問3. 職員体制 (2015 年 10 月 1 日の状況)		
業務内容別の職員体制	(1)常勤(実人員)	(2)非常勤(実人員)
①職員の総数	人	人
01 直接介助に関わる職員(介護職員など)	人	人

資料 1 (別紙 6-3)
【認知症対応型共同生活介護】

02 相談業務に従事する職員(生活相談員等)	人	人	
03 その他職員	人	人	
資格別の職員体制	(1)常勤(実人員)	(2)非常勤(実人員)	
②直接介助に関わる職員のうち資格を有する職員の総数 ※複数の資格を有する職員はそれぞれの資格の記入欄に計上	人	人	
01 介護福祉士	人	人	
02 その他の介護職員(介護職員初任者研修修了者、ホームヘルパー1級・2級など)	人	人	
03 看護師	人	人	
04 准看護師	人	人	
05 社会福祉士	人	人	
06 精神保健福祉士	人	人	
07 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士	人	人	
08 管理栄養士	人	人	
09 栄養士	人	人	
10 歯科衛生士	人	人	
その他	11()	人	人
	12()	人	人
	13()	人	人
	14()	人	人
	15()	人	人
(3)夜間配置人数	①貴事業所のみ専従者	②他事業所との兼務者	
	人	人	

問4. 利用者の状況 2015年9月実績

※該当者がいない場合は0を記入してください。

(1)要介護度別の利用者実人数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他
	人	人	人	人	人	人	人	人
(2)認知症高齢者日常生活自立度別実人数	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
	人	人	人	人	人	人	人	人

問5. 認知症の人に対する支援体制・内容について

(1)認知症の人に対するケアの方針※

※ここで言う「認知症の人に対するケアの方針」とはパンフレットやマニュアルではなく、法人もしくは事業所の理念に基づき、認知症の人に対してどのように接するべきかについて、職種間で共有する文書を言います。

①貴事業所においては、認知症の人に対するケアの方針がありますか。	1. ある 2. ない
----------------------------------	----------------

<p>(2) アセスメントの実施状況 貴事業所における認知症の人に対するアセスメント※の実施状況についてお答えください。 ※ここで言う「アセスメント」とはサービス事業所における個別援助計画を策定するための課題分析のことを言います。</p>	
<p>① 貴事業所においては、ケアマネジャーが実施するアセスメントとは別に、事業所としてのアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. 実施している 2. 実施していない</p>
<p>「1. 実施している」場合、認知症の人に対してどのようにアセスメントを実施していますか。</p>	<p>1. 計画作成担当者が単独で実施している 2. 多職種が連携して実施している 3. その他()</p>
<p>「1. 実施している」場合、アセスメントを実施する際、誰から情報を収集していますか。※複数可</p>	<p>1. 本人(本人との会話・身なり・生活の様子などの観察含む) 2. 家族・親族 3. 医療機関(主治医含む) 4. ケアマネジャー 5. 民生委員 6. 近隣住民 7. その他()</p>
<p>「1. 実施している」場合、アセスメントを通常実施している項目を○で囲んでください。</p>	<p>1. 生活歴 2. 認知機能 3. 基本的日常生活動作(ADL) 4. 手段的日常生活動作(IADL) 5. 身体疾患 6. 痛み 7. 認知症の行動・心理症状(BPSD) 8. 主治医・受診している医療機関 9. 処方されている薬剤の内容 10. 主介護者の希望 11. 主介護者の介護負担・健康状態 12. 本人の希望、興味・関心 13. その他()</p>
<p>(3) 個別援助計画の作成状況 貴事業所における認知症の人に対する個別援助計画の作成状況についてお答えください。</p>	
<p>① 認知症の人に対してどのように個別援助計画を作成していますか。</p>	<p>1. 計画作成担当者が単独で作成している 2. 多職種が連携して情報を共有して作成している 3. ケアマネジャーが作成したケアプランを活用している 4. その他()</p>
<p>② 認知症の人に対して個別援助計画を作成する際、どのような点に配慮していますか。※複数可</p>	<p>1. 本人の希望、興味・関心に基づく計画づくり 2. 本人が達成感や役割意識を持てるような計画づくり 3. 本人の心身機能の維持・向上ができるような計画づくり 4. 他者(家族、友人、地域の人)とのつながりを維持・強化できる計画づくり 5. その他()</p>
<p>(4) 認知症のケアの内容 貴事業所における認知症の人に対するケアの内容についてお答えください。</p>	
<p>① 認知症の人に対して、どのようなケアを行っていますか。※複数可</p>	<p>1. 集団で楽しむアクティビティケア 2. 利用者の過去の仕事や経験などを生かすケア 3. 利用者が役割をもって取り組めるケア 4. 利用者の趣味や興味・関心に焦点をあてたケア 5. 認知機能の維持・向上をめざしたケア 6. 身体機能の維持・向上をめざしたケア 7. 地域の人々との交流をめざしたケア 8. 利用者同士の交流をめざしたケア 9. 介護職員と一緒に過ごす時間を大切にしたケア 10. IADL の障害に対する日常生活支援 11. ADL 障害に対する介助 12. その他() 13. あてはまるものはない</p>
<p>問 5 (4) ①はサービスごとに選択肢に変更。</p>	

資料 1 (別紙 6 - 3)
【認知症対応型共同生活介護】

(5) モニタリングの実施状況 貴事業所における認知症の人に対するモニタリングの実施状況についてお答えください。	
① 認知症の人に対してどのようにモニタリングを実施していますか。	1. 計画作成担当者が単独で実施している 2. 多職種が連携して情報を共有して実施している 3. その他()
② モニタリングにおいて、どのような情報を収集していますか。※複数可	1. 生活歴 2. 認知機能 3. 基本的日常生活動作(ADL) 4. 手段的日常生活動作(IADL) 5. 身体疾患 6. 痛み 7. 認知症の行動・心理症状(BPSD) 8. 主治医・受診している医療機関 9. 処方されている薬剤の内容 10. 主介護者の希望 11. 主介護者の介護負担・健康状態 12. 本人の希望, 興味・関心 13. その他()

問 6. 認知症の人に対する事業所全体の取り組みについて

(1) 認知症の人に対するケアに関する、他機関との連携についてお伺いします。			
① 認知症の人に対するケアに関して、協力医療機関はありますか。	1. ある 2. ない		
「1. ある」の場合、連携先の状況をお答えください	1. 認知症を専門とする医療機関である 2. 認知症を専門とする医療機関ではない 3. わからない		
「1. 認知症を専門とする医療機関である」場合、認知症の恐れがある利用者に対して、認知症の原因疾患を診断していますか。	1. 行っている 2. 行っていない		
② 認知症の人に対してサービスを提供・調整していく上で、以下の関係者・関係機関とどの程度、連携を行っていますか。			
問 6 (1) ②はサービスごとに連携先を変更。			
関係者・関係機関	連携している	あまり連携していない	ほとんど連携していない
01 主治医	1	2	3
02 協力医療機関	1	2	3
03 地域包括支援センター	1	2	3
04 民生委員	1	2	3
05 近隣住民	1	2	3
06 町内会・市町村	1	2	3
07 他の介護サービス事業者	1	2	3
その他	08()	1	2
	09()	1	2
	10()	1	2
③ 貴事業所では、認知症の人の主治医とどのような連携を行っていますか。※複数可	1. 定期的に利用者の健康状態の変化等について報告、相談している 2. 日常的に訪問診療や往診を実施している 3. サービス担当者会議に出席を求めている 4. 主治医と連携して家族に情報共有をしている 5. 緊急時に連携している 6. 特に連携は行っていない 7. その他()		

【認知症対応型共同生活介護】

<p>④貴事業所では、認知症の人の主治医と連携を行う上でどのようなことが課題となっていますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問診療に対応する医師の確保が困難である 2. 認知症の専門医が地域にいない 3. 主治医が認知症の専門医かどうかわからない 4. 連携のコストが経営的に見合わない 5. 職員不足により、連携は負担が大きい 6. 特に課題と感ずる点はない 7. その他() 	
<p>⑤貴事業所では、ケアマネジャーとどのような連携を行っていますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に利用者の健康状態の変化等について報告、相談している 2. サービス担当者会議に出席を求めている 3. 緊急時に連携している 4. その他() 	
<p>⑥貴事業所では、ケアマネジャーと連携を行う上でどのようなことが課題となっていますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネジャーの認知症へ理解が不足している 2. 職員不足により、連携は負担が大きい 3. 特に連携の必要性を感じていない 4. 特に課題と感ずる点はない 5. その他() 	
(2) 認知症の人に対するケアに関する、家族との情報共有についてお伺いします。		
<p>①貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのような支援を行っていますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別のアドバイス(電話・メール・対面等) 2. 定期的な情報共有(電話・メール・対面等) 3. 個別の相談対応(緊急時を含む随時) 4. 認知症家族同士の交流会の開催 5. その他() 	
<p>②貴事業所では、認知症の人の家族に対して、どのように情報共有を行っていますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に利用者の健康状態の変化等について報告している 2. サービス担当者会議への出席を求めている 3. 家族も交えたグループホームの行事等を行っている。 4. 随時(緊急時を含む)連絡している 5. その他() 	
<p>③貴事業所では、認知症の人の家族と情報共有を行う上でどのようなことが課題となっていますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族が認知症であることを認めようとならない 2. 職員不足で定期的な家族への連絡は負担が大きい 3. 職員の能力が不足している 4. 情報共有の必要性を感じない 5. 特に課題と感ずる点はない 6. 情報共有を行う家族がいない 7. その他() 	
(3) 認知症の人に対するケアに関する、研修・マニュアル等の整備状況についてお伺いします。		
<p>①貴事業所における職員の受講実績についてお答えください。</p>	01 認知症介護者指導者研修	1. いる→()人 2. いない
	02 認知症介護実践リーダー研修	1. いる→()人 2. いない
	03 認知症介護実践者研修	1. いる→()人 2. いない
<p>②貴事業所では、認知症の人のケアに関する研修を開催・あるいは職員が受講する機会を設けていますか。</p>	1. ある →()回/年 2. ない	
<p>③貴事業所では、認知症の人に対するケアの研修においてどのような内容を重視していますか。 ※複数可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症についての理解 2. 認知症高齢者に対する専門的なケアの習得 3. 認知症高齢者に対するコミュニケーション方法の習得 4. その他() 	
<p>④貴事業所では、認知症の人に対するケアの研修についてどのような形態で行っていますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多職種が参加するカンファレンスの開催 2. 家族支援のための実習 3. 問題解決型のグループディスカッション 	

※複数可	4. 実地研修 5. その他()
⑤貴事業所では、認知症の人のケアに関するマニュアルを整備していますか。	1. ある 2. ない

問7. 認知症の人に対するケアを行う上での課題について、最も重要なもののみ、200字以内でご記入ください。

--

■■■ご協力ありがとうございました■■■

認知症高齢者へのサービスの提供に関する実態調査

【利用者票】

利用者票は 1 人 1 行形式とする。

※調査対象となる利用者は、同封の「実施要領」に記してある手順で抽出して下さい。

利用者 ID :

問 1. 利用者の状況についてお聞きします		
(1) 性別	1. 男性 2. 女性	
(2) 年齢	_____ 歳	
(3) 貴事業所の入居年月	西暦 _____ 年 _____ 月	
(4) 入居前の居所	1. 自宅 2. 他のグループホーム 3. 特別養護老人ホーム 4. 介護老人保健施設 5. 介護療養型医療施設 6. 一般病棟(病床)・医療療養病棟(病床) 7. 精神科病院 8. その他施設等(有料老人ホーム、特定施設、高齢者住宅等) 9. その他 10. 不明	
(5) 要介護度状態区分	1. 認定なし 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4 8. 要介護5	
(6) 障害高齢者の日常生活自立度	1. 自立 2. J1 3. J2 4. A1 5. A2 6. B1 7. B2 8. C1 9. C2 10. 不明	
(7) 認知症高齢者の日常生活自立度	1. 自立 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa 6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明	
(8) 認知機能 (各行為について、現在の状況に最も近いものに○)	① 日常の意思決定ができますか	1. 意思を他者に伝達できる 2. ときどき伝達できる 3. ほとんど伝達できない 4. できない
	② 自分の名前を答えることができますか	1. できる 2. できない
	③ 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがあります	1. まったくない 2. ときどきある 3. 頻繁にある 4. いつもそうだ
	④ 5 分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	1. まったくない 2. ときどきある 3. 頻繁にある 4. いつもそうだ
	⑤ 自分の生年月日がわからなくなるときがありますか	1. まったくない 2. ときどきある 3. 頻繁にある 4. いつもそうだ
	⑥ 今日が何月何日かわからなくなるときがありますか	1. まったくない 2. ときどきある 3. 頻繁にある 4. いつもそうだ
	⑦ 自分のいる場所がどこかわからなくなるときがありますか	1. まったくない 2. ときどきある

資料1 (別紙6-4)
【認知症対応型共同生活介護】

		3. 頻繁にある 4. いつもそうだ
	⑧道に迷って家に帰ってこれなくなることはありますか	1. まったくない 2. ときどきある 3. 頻繁にある 4. いつもそうだ
	⑨電気やガスや水道が止まってしまったときに、自分で適切に対処できますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑩一日の計画を自分で立てることができますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑪季節や状況にあった服を自分で選ぶことができますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
(9) IADL (各行為について、現在の状況に最も近いものに○)	⑫一人で買い物はできますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑬バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑭貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑮電話をかけることができますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑯自分で食事の準備はできますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
	⑰自分で、薬を決まった時間に決まった文量のむことはできますか	1. 問題なくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. まったくできない
(10) ADL (各行為について、現在の状況に最も近いものに○)	⑱入浴は一人でできますか	1. 問題なくできる 2. 見守りや声がけを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
	⑲着替えは一人でできますか	1. 問題なくできる 2. 見守りや声がけを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
	⑳トイレは一人でできますか	1. 問題なくできる

資料1 (別紙6-4)
【認知症対応型共同生活介護】

		2. 見守りや声掛けを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
	21 身だしなみを整えることは一人でできますか	1. 問題なくできる 2. 見守りや声掛けを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
	22 食事は一人でできますか	1. 問題なくできる 2. 見守りや声掛けを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
	23 家のなかでの移動は一人でできますか	1. 問題なくできる 2. 見守りや声掛けを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
	24 家の外の移動は一人でできますか	1. 問題なくできる 2. 見守りや声掛けを要する 3. 一部介助を要する 4. 全介助を要する
(11) 現在、治療している病気 ※複数可	1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常) 6. 肺炎・気管支炎等の呼吸器の病気 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症 15. パーキンソン病 16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他() 19. ない	
(12) 行動・心理症状	①妄想(例:物を盗られたなどと被害的になる、事実でないことを信じ込む)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	②幻覚(例:実際にはないものが聞こえたり、見えたりする)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	③易怒性(例:気難しく怒りっぽい、待たされることが我慢できない)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	④暴言(例:他者をののしる、どなる、威嚇する)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑤暴行(例:他者を叩く、押す、ひっかく、性的に虐待する)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑥拒絶(例:服薬・食事などを拒否する、ADLの介助に抵抗する)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑦うつ(悲しそう、落ち込んでいるように見える、悲観的なことを言う)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑧不安(落ち着かない、リラックスできない、過度に緊張している)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑨無気力(日常の活動や周りのことに興味がなく、自発性を失った状態)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑩脱抑制(例:行動の抑制がきかない、多幸、反社会的行動)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑪徘徊(例:合理的な目的もなく歩きまわる、夜間に出歩く)	1. ない 2. 少しある 3. かなりある 4. 非常にある
	⑫睡眠障害(例:不眠症、過眠症、日中	1. ない 2. 少しある

	の眠気、昼夜逆転)	3. かなりある 4. 非常にある
(13) 現在利用している介護サービス内容 ※複数可	1. (介護予防) 訪問介護 2. (介護予防) 訪問入浴介護 3. (介護予防) 訪問看護 4. (介護予防) 訪問リハビリテーション 5. (介護予防) 居宅療養管理指導 6. (介護予防) 通所介護 7. (介護予防) 通所リハビリテーション 8. (介護予防) 短期入所生活介護 9. (介護予防) 短期入所療養介護 10. (介護予防) 福祉用具貸与 11. 特定(介護予防) 福祉用具販売 12. 住宅改修 13. (介護予防) 認知症対応型通所介護 14. (介護予防) 特定施設入居者生活介護 15. その他 ()	

問1 (13) はサービスごとにサービスの内容を変更。

問2. 家族の状況についてお聞きます		
(1) 世帯構成 (施設入所中の場合は入所直前の世帯)	1. 独居 2. 夫婦のみ 3. その他同居	
「3=その他同居」の場合の同居者	1. 高齢者(65歳以上)のみ 2. それ以外	
(2) 主介護者(キーパーソン)の有無	1. あり 2. なし	
「1=あり」の場合の本人との間柄	1. 配偶者 2. 娘・息子 3. 姉妹・兄弟 4. その他の親族 5. その他 ()	

問3 はサービスごとに職種を変更。

問3. サービスの内容と対応する職員・関係者についてお聞きます										
対応内容	有無 (該当する方に○)		(対応している職種に○) 複数可							
			①主治医	②看護師・准看護師	③介護職員	④PT/OT/ST	⑤計画作成担当者	⑥その他 ()	⑦その他 ()	⑧その他 ()
(1) 個別援助計画を作成するためのアセスメント	有	無								
(2) サービス担当者会議	有	無								
(3) カンファレンスの開催	有	無								
(4) 個別援助計画の作成	有	無								
(5) ケアの実施	有	無								
(6) 普段の見守り	有	無								
(7) モニタリング・個別援助計画見直し	有	無								
(8) 家族への連絡・調整	有	無								
(9) 主治医・協力医療機関への連絡・調整	有	無								
(10) ケアマネジャーへの連絡・調整	有	無								

居宅サービスを対象とした調査票のみの設問

問4. カンファレンス・モニタリングの状況についてお聞きします		
(1) カンファレンスの状況	①カンファレンス開催のタイミング※複数可	1. サービス提供開始前に実施 2. サービス提供期間中に定期的に実施 3. 必要に応じて随時実施 4. その他()
	「2=サービス提供期間中に定期的に実施」の場合、カンファレンスの開催頻度	1. 1か月に1回程度 2. 2~3か月に1回程度 3. 半年に1回程度 4. その他()
(2) モニタリングの頻度	1. 1か月に1回程度 2. 2~3か月に1回程度 3. 半年に1回程度 4. その他()	

問5. 認知症の診断状況と医療との連携についてお聞きします		
(1) 主治医の有無	1. いる 2. いない	
「1=いる」の場合の医療機関	1. 協力医療機関である 2. 協力医療機関ではない	
「1=いる」の場合の主治医の専門分野	1. 認知症を専門とする医師である 2. 認知症を専門とする医師ではない 3. わからない	
「1=いる」の場合、主治医と情報共有をしていますか。	1. 情報共有している 2. 情報共有していない	
(2) 認知症の状態であると診断されていますか。	1. 診断されている 2. 診断されていない 3. わからない	
(3) 認知症の原因疾患について診断されていますか。	1. 診断されている 2. 診断されていない 3. わからない	
「1=診断されている」の場合の診断を受けた日	西暦_____年_____月	
「1=診断されている」の場合の診断者	1. 主治医 2. 主治医以外	
診断者の専門分野	1. 認知症を専門とする医師である 2. 認知症を専門とする医師ではない 3. わからない	
「1=診断されている」の場合、診断名	1. アルツハイマー型認知症 2. 血管性認知症 3. レビー小体型認知症 4. 前頭側頭型認知症 5. その他()	
「2=診断されていない」場合の理由 ※複数可	1. 診断が必要な利用者ではない 2. 診断が必要な利用者かどうかわからない 3. 診断が必要な利用者であるが、診断につなげられない 4. その他()	
「2=診断が必要な利用者かどうかわからない」場合の理由		

問6. 利用者に対して提供されているケアについてお聞きします	
(1) 事業所において利用者に提供されているケアであてはまるものがあれば○をつけてください。 ※複数可	1. 集団で楽しむアクティビティケア
	2. 利用者の過去の仕事や経験などを活かすケア
	3. 利用者が役割をもって取り組めるケア
	4. 利用者の趣味や興味・関心に焦点をあてたケア
	5. 認知機能の維持・向上をめざしたケア
	6. 身体機能の維持・向上をめざしたケア
	7. 地域の人々との交流をめざしたケア
	8. 利用者同士の交流をめざしたケア
	9. 介護職員と一緒に過ごす時間を大切にされたケア
	10. その他()
	11. あてはまるものはない
(2) 食事・入浴・排泄に関する介助で工夫されていることがあれば○をつけてください。 ※複数可 <div style="border: 1px solid black; background-color: #f4a460; padding: 5px; width: fit-content;"> 問6(2)はサービスごとに内容を変更。 </div>	①食事介助 1. 食事の時間を決めない 2. 職員が1対1で対応している 3. 気がちらないように落ち着いた環境で食事をする 4. 本人の食の好みに合わせて調理している 5. その他() 6. 特に工夫はない 7. 食事介助は行っていない
	②入浴介助 1. 本人の意思に応じて入浴できるようにしている 2. 職員が1対1で対応している 3. 夜間入浴が行えるようにしている 4. 身体能力が低下しても入浴可能な設備を備えている 5. その他() 6. 特に工夫はない 7. 入浴介助は行っていない
	③排泄介助 1. 本人の状態に応じて随時介助している 2. トイレで排泄することを基本としている 3. 可能な限りおむつは使用しない 4. 身体能力が低下しても排泄可能な設備を備えている 5. その他() 6. 特に工夫はない 7. 排泄介助は行っていない
(3) 日常生活支援として行われていることがあれば○をつけてください。 ※複数可	1. 食事の準備 2. 掃除・整理整頓 3. 洗濯 4. ゴミ出し 5. 服薬の管理 6. 買物の代行 7. 買物の同行 8. 通院の同行 9. 買物や通院以外の外出支援(散歩など) 10. 預金の引き落とし 11. 光熱費や家賃の支払い 12. 困りごとの相談にのる 13. 話の聞き手になる 14. その他() 15. 行われていることはない
(4) 家族支援として行われていることがあれば○をつけてください。 ※複数可	1. 家族の健康状態や介護負担についてアセスメントする 2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのる 3. 利用者の状態や介護の方法について情報を提供する 4. 家族の人同士が集える場を設ける(例: 認知症カフェやサロンなど) 5. その他() 6. 行われていることはない
(5) 認知症ケアを行う上での課題	(最も重要なもののみ、200字以内でご記入ください。)